

アに入れる雰囲気をつくっている。  
正金として80万円程度が必要となった  
かった。団体の立ち上げにかかわっ  
入れ、さらにWE21本部から3年返済  
上げ資金を調達した。  
入れたリサイクル品の値付けや店内  
業など、店舗運営の知識や技術が必  
ショップのマネージャーが集まりワー  
う団体を組織し、独自に研修や情報  
いる。(ただし、運営方針の変更によ



## 特定非営利活動法人アンガージュマン・よこすか ～不登校・引きこもり者とその家族の支援～

### 1) 団体の概要

2003年12月に不登校・引きこもり者の社会参加支援を目的としてNPO法人を設立。上町商盛会商店街振興組合と連携し、商店街空き店舗対策事業を活用して、神奈川県及び横須賀市から改装費・家賃の一部の補助を受け2004年4月に商店街内に拠点施設をオープンさせた。このスペースでは、居場所事業（交流スペース）、学習支援事業（マンツーマン形式の塾）や、多様な講座の開催を行っている。また、地域の人のお困り事に対応する孫の手事業（草取りなど）なども手がけている。

2006年5月には、同じ商店街内の空き店舗に就労支援の場として書店を開業。かながわボランティア活動推進基金21の助成を受けた。さらに2006年10月から山形県新規就農者ネットワークと連携し、上町商盛会商店街内で月1回の山形物産販売を行うとともに、神奈川県内のイベントでの出張販売なども行っている。



## 2) 財政状況 (2007年4月1日～2008年3月31日)

法人全体	総資産：2,660万円 (3月31日現在)		
特定非営利活動に係る事業	収入：3,620万円 【内訳】 フリースペース事業：115万円 学習支援事業：1,290万円 若者への支援事業など：854万円 寄付金、助成金：1,361万円	支出：3,251万円 (うち給与手当：844万円)	収支差額：369万円
その他の事業(収益事業)	事業収入：1,152万円 【内訳】 ・書店事業収入：1,152万円	事業支出：1,312万円 (うち給与手当：208万円)	収支差額： ▲160万円

## 3) ペイドワークの実態

- 4人の職員が月給制による報酬を得ている他、書店運営や事務に関わるスタッフ3人に月払いの報酬が支払われている。理事長も当団体の活動に多く関わっているものの、無報酬での働きをしており、生活に必要な収入は当団体を介さない仕事から得ている状況。
- 学習支援事業の講師は、定年退職した教師や学生など、生活資金を稼ぐ必要のない立場にある人が多いことから、時給1,000円(1コマ90分1,500円)という低額水準でのワークが依頼できている。
- 書店事業スタッフの報酬は、事業収入以外に「かながわボランティア活動推進基金21」からも捻出された(2006年度)。
- 若者の就労支援として行う事業についても、原則有償で引き受け、ペイドワークとしている。

## 4) この団体から学びたいヒント

- 拠点スペースに学習スペースを設置し、地域の小中学生を受け入れて

完全1対1の授業を展開。講師陣に元教師などが関わることで多くの受講者を確保し、学習支援事業が収益源の一つとなっている。

- 当団体は商店街と良好な連携関係を構築している。拠点設置にあたり、商店街を通じて商店街空き店舗対策事業の適用を受けた。また拠点開設後も、商店街の清掃や福引手伝いなどが、若者の就労支援の場となっている他、イベントの灯ろうづくりや福引の手伝い、商店街アーケードの電球保守なども、有償で受注。
- 自立的な運営を目指し、収益確保が可能な事業を探索していた時に、イベント会場で出合った山形県の農業者グループと連携ができ、毎月1回商店街の売出し日に山形物産販売を行うようになった。県内他商店街への出張販売なども行っており、収益確保の場、若者の就労支援の場として機能している。

